

2014(H26).06.15

県総体(兼)国体予選の第2戦は48-7で合同Aに勝利

6月15日(日)11:37~堀原運動公園自由広場で、平成26年度県総体(兼)国体予選第5グループの決勝戦が行われ、日立一高は前半29-7、後半19-0、計48-7で、合同Aチーム(太田一、緑岡、茨城、勝田、水戸農)に勝ちました。



1回戦と同様に、快晴で気温が上昇する中、大会規定により前後半ともランニングタイム(ロスタイムなし)の25分ハーフ、レフリーの判断でウォーターブレイク(給水のための一時中断)を入れ、熱中症対策をしながらの試合となりました。



前半4分、敵陣スクラムから右オープンに展開し、WTB14番志賀(FB川井?)が先制トライ、ゴールは不成功ですが(5-0)と幸先の良いスタートとなりました。その後も7分にはラックでのターンオーバーから左オープンに展開し、ゴール前でCTBがタックルされるも、FWが押し込んでトライ、ゴール不成功(10-0)、10分には敵陣ゴール前のラックを連取し、サイドを付いたNo.8志賀がトライ、ゴール成功(17-0)と、前半に硬さの見られた1回戦とは別人のようなテンポの良い攻撃で、トライを重ねます。

開始早々から楽にトライを重ねたせいか、このあたりから、それまで機能していた攻撃的なタックルが見られなくなり、合同Aの大柄なFWやCTBの単純な縦攻撃に食い込まれる場面が目立つようになりました。自陣ゴール前に釘付けになり、一旦は凌いだものの、合同Aの執拗な攻撃 遂にゴールラインを割られ、前半16分にトライを喫します。(17-7)

その後は、22分、24分にBKが連続トライを上げ、(29-7)としたところで前半終了。後半の引き締めを期待したいところです。

後半開始4分、合同Aボールのラインアウトからの展開で生じたパスミスでWTB11番渡辺?が拾い、CTB12番野中につないでトライ、ゴール不成功(34-7)、しかし、後半に入ってもタックルが高く、或いは手だけで押さえに行っているため合同Aに食い込まれる状態が続き、スクラムでもプレッシャーを受けているため生きた球が出せず、無得点の状態が続きます。

18分、相手がファンブルしたボールを拾い、WTB11番渡辺が独走してトライ、ゴール成功(41-7)、21分には自陣からSH小宮がボックスキック、追走したSO岡崎からフランカー佐藤につないで中央にトライ、ゴール成功(48-7)としたところで試合終了となりました。

ディフェンスやスクラムなどに幾つか課題は残しましたが、1年生の両WTBが初トライを奪うなどの成果もあり、またFW・BKともに相手ディフェンスの隙間を上手く突いて得点に結びつけるなど、この時期としてはまずまずの結果だったのではないのでしょうか。

休む間もなく、来週は7人制の大会です。7人制(セブンズ)は、オリンピックの正式種目にもなっており、注目度が高まっています。また、展開指向の日立一高にとっては、得意種目とも言えますので、活躍に期待したいと思います。